

子どもの命を守る防災ずきんを

日本共産党の猿渡（えんど）久子市議は、教育の充実を粘り強く繰り返し求めてきました。えんど市議は、9月17日の別府市議会一般質問でも教育の問題で質問しました。

防災教育の取りくみも

日本共産党の猿渡（えんど）久子市議は、これまで「災害時の様々な情報発信を」「釜石の奇跡に学んで防災教育を」と求めてきました。その後、7月の台風接近時に避難所や道路の通行止めなどの情報を市のHPに掲載されました。学校での防災教育の取り組みも始まっています。



命を守ることを最優先に

えんど久子市議は、9月市議会一般質問で、学校への防災ずきんの導入を求めました。

「7月の子ども議会でも、東京で3・11の震災を経験した子ども議員さんより防災ずきん導入を求める質問があったが、大事な指摘だと思う。公費で導入すべきでは」と教育委員会の考えを質問。

担当課参事は、導入するかどうかも含め検討すると答弁。「命を守ることは最優先の課題であり、すぐに導入が必要ではないかと、えんど市議は重ねて早い時期の導入を求めました。」

熱中症対策にエアコンを

えんど久子市議は、温暖化が進み熱中症が増える中、これまでも教室へのエアコン・扇風機の設置をくり返し求めてきました。普通教室に扇風機が設置された後も、エアコン設置を求めています。

9月市議会でも「中津市では教室へのエアコン設置が始まり、豊後高田市でも来年度設置すると答弁があったそうだし」としかし、必要性は認めつつ「校舎の長寿命化などの課題もあり、優先順位を考えた」という答弁にとどまりました。えんど市議は、エアコンの早期の設置を重ねて求めました。

ご意見・要望などお寄せください。相談事などもお気軽にどうぞ。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
Tel.0977-22-6576

No.622
2014.10.21.

えんど久子市議 9月市議会で求める

建設への補助 継続を

補助の実現を粘り強く求め

えんど久子市議は、9月市議会でわくわく建設券について質問。

えんど市議は「日本共産党市議団は、7、8年も住宅リフォーム助成を求め続け、BEPPOわくわく建設券として昨年

実現。どう総括しているのか」と質問。商工課長

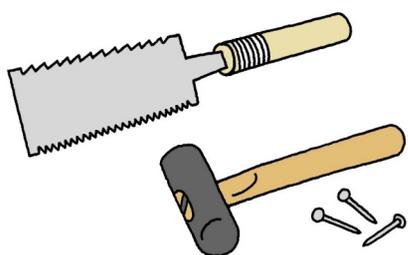
は、22億8000万円を超える工事費になったことや、これから業者にアンケートを取ることなどを答弁。

予算の2.3倍の経済効果

えんど久子市議は「総括が遅い。しかし、1億の予算で22.8倍の経済効果があった。手続きがややこしいなどの点を改善して、今後も建設に対する補助をすべき」と求めました。

今後、建設券などの建設関係の補助は継続されない可能性が強いことが

わかりました。利用しやすい制度に改善して建設関係の補助を続けるよう働きかけを強めましょう。日本共産党は皆さんとご一緒にがんばります。



道路などの要望を届けました

日本共産党市議団の市民アンケートにたくさん寄せられた道路などの要望について調査し、10月16日、平野ふみかつ・えんど久子両市議と竹内よしひろ氏は、それらについて建設部長に要望しました。アンケートには「別府市の悪いところは？」の問いに「道路が悪い」という声が多かったのです。岩田建設部長は「調査しお返事します。他の部署が担当のものについてはこちらから伝えます」と答えました。



雑草が伸びて見通しがわるい道路